

\*「展示資料」の欄には、絵本とは異なる、アフリカ内の他の地域、他の民族の物を載せていることもあります。  
 《 》はサブセクション名。

No.	表紙	題名／文／絵／訳／出版社	内 容	展 示 資 料
1	AはアフリカのA	<b>AはアフリカのA</b> アルファベットでたどるアフリカのくらし イフェオマ・オニエフル：作・写真 さくまゆみこ：訳 ／借成社	ナイジェリアの生活をアルファベットでたどっています。 AはアフリカのA、BはビーズのB、CはカヌーのC・・・	《歴史を掘り起こす》コーラナツ。 《都会に集う》キオスク、[CD、カセット、ビデオ]、ダカールの映像。 《働く》映像「布につやをだす」(…藍染め、織織り)。 《装う》衣服と装身具(プリント布、染め布、ビーズ)、織機用滑車。 《祈る》『仮面の森』。 《アフリカの今》写真「市場の風景」、アフリカのさまざまな椅子。  * 関連情報 * ビデオテープ「ジャワラ村の藍染め」(No. 1645)。
2		<b>アフリカの音</b> A STORY OF WEST AFRICAN DRUM & DANCE 沢田としき ／講談社	西アフリカの太鼓とダンスの世界を、ゲンゴドパゲンゴドパ、リズムカルな文章と色彩豊かな絵で描きます。	《働く》 杵と臼、ポリタンク、映像「布につやをだす」(…織織り)。 《装う》 衣服と装身具(プリント布、ビーズ)。 《アフリカの今》 アフリカのさまざまな椅子。
3		<b>おはなし おはなし</b> ゲイル・E・ヘイリー：さく あしのあき：やく ／ほるぷ出版	アフリカ民話。 クワク・アナンセというクモ男が、空の王者から、こがねの箱にいつぱいつまったお話を、難題をこなして持ち帰ります。	《歴史を掘り起こす》 写真「アシャンティの王 ペレンペイ2世」、日傘、布「ケンテ」、腰かけ。 《働く》 杵と臼。 《装う》 衣服と装身具(プリント布、織布「ケンテ」、腰巻布、ビーズ、犬の歯でつくられた首飾り)。 《アフリカの今》 アフリカのさまざまな椅子。
4		<b>サラガのバオバブ</b> よねやまひろこ：文 エドモンド・オパレ：絵 ／新日本出版社	西アフリカ・ガーナの北にあるサラガの町で家族と平和に暮らしていた少年が、奴隷狩りにとられ鎖につながれて奴隷商人に買われ、船に乗せられて着いたのはアメリカでした・・・	《歴史を掘り起こす》 奴隷をつないだ鎖。 《装う》 衣服と装身具(プリント布)。

\*「展示資料」の欄には、絵本とは異なる、アフリカ内の他の地域、他の民族の物を載せていることもあります。  
 《 》はサブセクション名。

No.	表紙	題名／文／絵／訳／出版社	内容	展示資料
5		<b>ジンガくん いちばへいく</b> ふしはら のじこ:さく・え ／福音館書店	コンゴの日常の風景を伝えます。 ジンガくんが、自分のにわとりが産んだたまごを、市場のおばあさんへ届けに行きます。市場の様子が明るい色合いで描かれています。	《都会に集う》 キオスク、ダカールの映像、床屋の看板、床屋の看板(ヘアスタイルの見本)、床屋、カフェテリア「シレックス」、(白いテーブルの上の)「アフリカの料理」ファイル。 《働く》 ポリタンク。 《装う》 衣服と装身具(プリント布、ビーズ)。 《アフリカの今》 写真「市場の風景」。
6		<b>たいようつきはなぜ そらにあるの?</b> エルフィンストーン・デイレル:ぶん ブレア・レント:え きしの じゅんこ:やく ／ほるぷ出版	アフリカ民話。 太陽と月がどうして空にあるのか、というお話。 むかしむかし、太陽と月の夫婦は水の一族を家に招きました...	《歴史を掘り起こす》 日傘、腰かけ。 《装う》 衣服と装身具(プリント布、ビーズ、腰巻布)。 《祈る》 『仮面の森』。
7	<b>ぼくはまほうつかい</b>	<b>ぼくはまほうつかい</b> マヤ・アンジェロウ:文 マーガレット・コートニー=クラーク:写真 さくまゆみこ:訳 ／アートン	コフィが住んでいるアシャンティ地方のボンウイレ村は、ケンテという鮮やかな手織りの布で知られています。 目を閉じて心を開けば、どこにだって飛んでいけるよ。市場や学校、お祭り、美しい布... ガーナの暮らしを、コフィの「まほう」で紹介します。	《歴史を掘り起こす》布「ケンテ」、写真「アシャンテ王 ペレンペイ2世」、日傘。 《都会に集う》ダカールの映像。 《働く》杵と臼、映像「布につやを出す」(…織機り)。 《装う》衣服と装身具(プリント布、織布「ケンテ」、織布(細巾布)、ビーズ)、織機用滑車。 《アフリカの今》写真「市場の風景」、アフリカのさまざまな椅子。
8		<b>ムラホー！ こんにちわ</b> アフリカのともだちをたずねて クリストフ・ルツ:文 カトリーヌ・ルツ=マルクサー:絵 久世礼子:訳 ／アジア・アフリカともだち文庫	ルワンダのお話。 赤いバスに乗って、山を越え、岡を越え、ジボマナおじさんのうちへ、さあ出発！	《歴史を掘り起こす》『栽培作物の起源』トージンビエ、シコクビエ、ソルガム。 《都会に集う》キオスク。 《働く》クワ、杵と臼。 《装う》衣服と装身具(プリント布、ビーズ)。 《アフリカの今》写真「市場の風景」。

\*「展示資料」の欄には、絵本とは異なる、アフリカ内の他の地域、他の民族の物を載せていることもあります。  
 《 》はサブセクション名。

No.	表紙	題名／文／絵／訳／出版社	内容	展示資料
9		<b>欲ばりのセブググ</b> P・D・スワート:文 N・ジョーンズ:絵 宮本正興:訳 ／河出書房新社	世界の民族絵本集—南アフリカ共和国。 貧乏なセブググは、「牛をつぶしてしまえ、そうしたら100頭の牛が手に入る」とキジバトが鳴くのを聞きました。彼はさっそくその通りにしたのですが…。	《働く》 杵と臼、弓矢。 《装う》 衣服と装身具(プリント布、腰巻布、ビーズ、首飾り)。
10		世界のともだち14 <b>南アフリカ共和国</b> シフィウエ 夢はサッカー選手 船尾修 ／偕成社	子どもたちの暮らしを紹介する写真絵本シリーズ。 ヨハネスブルグ近郊にある旧黒人居住区で暮らすシフィウエは、小学校へかようサッカーが大好きな男の子です。取り巻く環境は厳しいけれど、明るく元気に毎日を過ごしています。	《歴史を掘り起こす》マンデラ氏の写真。 《都会に集う》ダカールの映像、床屋の看板、(白いテーブルの上の)「アフリカの料理」ファイル。 《働く》杵と臼。 《装う》衣服と装身具(プリント布、胸飾り(ガラス・ビーズ)、頭飾り(プラスチック・ビーズ)、前掛け)。 《祈る》「諸民族の言語に翻訳された聖書」ズールー語、十字架。 《アフリカの今》写真「市場の風景」
11		<b>ワンガリ・マータイ</b> もったいないを世界へ フランク・プレヴォ:原作 オーレリア・フロンティ:絵 高野優:監訳 坂田雪子・長井佑美:訳 ／汐文社	ケニアに生まれたワンガリ・マータイは、人々の暮らしと森を守るため独裁政権と戦い、木を植える運動を起こし、アフリカ人女性としてはじめてノーベル平和賞を受賞しました。 また「もったいない」という日本語に感銘を受け、世界で「もったいないキャンペーン」を行いました。	《歴史を掘り起こす》 いのちの輪だち—Cycle of Life—(武器で作った作品)、植民地の経験。 《装う》 衣服と装身具(プリント布、ビーズ)。